

自己点検・評価シート

平成25年度 第9次鳥取市総合計画

整理No.		所属名	教育委員会事務局 体育課
事務事業名	子どものこころづくり支援「夢の教室」事業		

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校5年生を対象に、クラスごとに夢の大切さを学ぶ授業を展開する。
意図 (どのような状態にするために)	子どもたちが夢を持つ大切さや仲間の大切さ、協力して目標を達成する力などを身につける。
手段 (どうするのか)	スポーツや芸術、文化などの分野でトップを極めた人たちを夢先生として正規の授業に招き、夢を語り合う授業を展開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容	年度別計画	平成23年度 5校での実施	平成24年度 5校での実施	平成25年度 5校での実施	平成26年度 5校での実施	平成27年度 5校での実施	
	年度別実績	7校で実施	7校で実施	7校で実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,954	1,947	1,933	1,355		
	直接経費 A	1,204	1,204	1,204	1,355		
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,204	1,204	1,204	1,355	
人件費 B	750	743	729				
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10			
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要</p> <p>昨今の子どもを取り巻く負の現象「いじめ」「キレル」「ひきこもり」「自傷行為」など、子どものこころの問題に対応するため、トップアスリートを活用し、子どもに夢を語りかけ、仲間と生きる喜びを伝え、失敗と達成の体験を伝える活動を実施し、スポーツを通じて子どもの豊かなこころを育む事業を展開する。</p> <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業は正規の授業2コマ(45分授業の2時限)で実施。 ・「夢先生」1名、アシスタント1名、サポートスタッフ1名で実施。 ・前半の1コマは「ゲームの時間」 体育館で体を動かしながら、「目的のために協力すること」「相手を思いやるこころ」「フェアプレーの精神」を実技の中で気づいてもらう時間。 ・後半の1コマは、「トークの時間」教室で、トップアスリート「夢先生」の体験談などをもとに、夢について話し合い、子どもたちに自分の夢を考えてもらう時間。 <p>2 事業の実績</p> <p>7校、12クラスで実施</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	子どものこころづくり実施学校数	校	目標	5	5	5	5	5
				実績	7	7	7		
		(指標の説明)							
活動指標	2			目標					
				実績					
		(指標の説明)							

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	子どものこころづくり実施学校数	校	140%	140%	140%		
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子ども達が夢や目標を持ちにくくなった現代において、夢の大切さや努力をすることの大切さを伝える取り組みは重要である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	開催希望校が増加傾向にあり、子ども達や先生にも事業意義が浸透し、夢先生との交流も深まるなど事業効果が顕著である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	夢先生やアシスタントの交通費と謝礼のみで事業展開しており、少額の経費で国内トップレベルの人材の登用が実現している。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	開催希望校からの申請書を審査し、事業目的の理解度や今後の授業に発展的に取り組もうとする意欲的な学校で開催している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	子どもたちの夢を育む事業として非常に有意義である。			
今後の課題・方向性	平成26年度からは小学5年生のみならず、中学生も対象として事業の拡大を図りながら継続的に、実施する。			

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	費用対効果の面からいっても、子どもたちの夢を育む事業として行う価値はある。懸念の一つは、単に、有名人を呼ぶことで、子どもたちを喜ばせるだけの事業になる恐れと、今後の課題として、この事業が本当に子どもの心の問題を解決するのに有効かどうかを検証しなければならない。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業の性質からすれば安価に実施できるが、スケジュールを調整して受益校を増やすよう配慮されている。実施校数で評価されているが、今後は本事業の児童・生徒への影響についての評価も期待したい。
--------	--